

SANGO no NURIKABE

施工要領書



ulu.
#353196

はじめに・・・

ulu#353196 は風化・死滅したサンゴを原料とする、環境にも身体にも優しい塗り壁のブランドです。

顔料染料は使用せず、色味は全て自然素材本来の色にこだわりました。自然素材だからこそ、その時に採れる材料がベースとなりますので、同じ製品でも製造時期が違ふと多少色が異なることもございます。自然素材だからこそその特性をご理解いただき、ご不明な点はお問い合わせください。

弊社が独自技術として持つ、死滅したサンゴと泡盛の蒸留粕を材料としたサンゴの養殖基盤を活用し、新たなサンゴを育てる活動の支援をulu#353196 のブランドに組み込みました。お客様はこの塗り壁を建材として選択することで、新たな海の循環を生むことに貢献することができます。



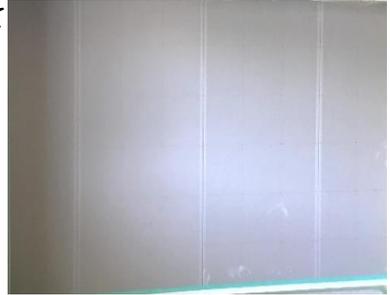
【仕様】

風化造礁サンゴ・勝連トラバーチン・石畳コーラル・琉球赤瓦・沖縄赤土
1袋/20kg 1袋/約13㎡施工可能

石膏ボードの下地処理

1、石膏ボードは JASS26 (内装工事) に準じて正しく貼り付けを行う。

ボードジョイント部分へファイバーメッシュテープを貼り付ける。



2、NS フィラーエース (弊社推奨) もしくはパテでジョイントの凹み部分・取付ビス穴を埋める。



3、壁全体へ、各下地材で塗り付けをする。

【NS フィラーエース (弊社推奨) を塗布する場合】

金ゴテを使用

(NS フィラーエースの取扱説明書をご参照ください)

【水性シーラーを塗布する場合】

ローラー又は刷毛を使用

(ご使用になる商品の取扱説明書をご参照ください)



施工のポイント

NS フィラーエースは水性シーラーと比較し、下地処理の時間短縮化と仕上げ塗りの際の色ムラ防止、付着強度の向上となるため、クラック発生等の軽減になります。

入隅部分へもしっかり埋め込んでください。(割れにくくなります)

合板の下地処理

1、合板を JASS26 (内装工事) に準じて正しく貼り付けを行う。

アク止め処理として、水性カチオン形ホワイトシーラー
原液をローラー又は刷毛で塗りムラが無いよう塗布する。

⚠️ 2回以上塗布してください。



乾燥養生：1日以上



2、合板ジョイント部分へファイバーメッシュテープを
貼り付ける。

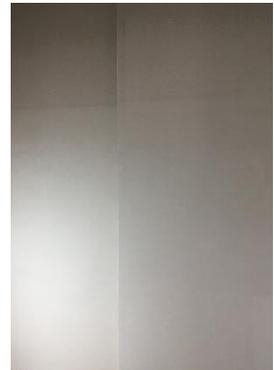


3、NS フィラーエース (弊社推奨) もしくはパテで
ジョイントの凹み部分・取付ビス穴を埋める。



4、NS フィラーエース (弊社推奨) を、壁全体へ
金ゴテで塗り付ける。

(NS フィラーエースの取扱説明書をご参照ください)



施工のポイント

NS フィラーエースをシーラーの上から塗布することにより、仕上げ塗りの際の色ムラやアクが出にくくなります。
入隅部分へもしっかり埋め込んでください。(割れにくくなります)

コンクリートの下地処理

施工する前に

- 躯体側の精度を確認してください。
- 塗面に対し凸部分はケレン処理を行い、凹部分はモルタル補修・乾燥養生を行った後に、表面に付着しているほこり・油分・カビ等の処理を行った上で施工してください。

1、表面処理剤水性カチオン形ホワイトシーラー原液を
ローラー又は刷毛で塗りムラが無いよう塗布する。

(ご使用になる商品の取扱説明書をご参照ください)

乾燥養生：1日以上



2、NS フィラーエース (弊社推奨) を、壁全体へ
金ゴテで塗り付ける。

(NS フィラーエースの取扱説明書をご参照ください)



👉 施工のポイント

NS フィラーエースをシーラーの上から塗布することにより、付着強度の向上によるクラック発生等の軽減になります。

入隅部分もしっかり埋め込んでください。(割れにくくなります)

サンゴの塗り壁の施工方法

施工する前に

■下記の天候下での施工は避けてください。



風のあたる場所



直射日光のあたる場所



気温5℃以下



気温 35℃以上

■準備する道具



バケツ



ハンドミキサー(変速タイプ)



きれいな水(水道水)約 9kg



あくまで本製品 20kgの標準量となりますので、施工環境によって異なります。



使用するバケツに合わせて数回に分けて攪拌してください。

■材料の攪拌

1、バケツに水を入れ、本製品を数回に分けて投入し攪拌する。

2、最初の投入の際は低速回転で混ぜ、製品を全て投入した後に、高速回転で約2分攪拌する。



練りムラのないよう十分に攪拌してください。



施工のポイント

練りの硬さの目安:ハンドミキサー先端より徐々に落ちる程度の硬さが施工に最適です。水分が足りないと感じる場合は、少しずつ加水してください。

■上塗り仕上げ

1、壁全体に金ゴテで擦り付けるように薄塗りで塗り付ける。

(塗り厚の目安:0.5~1.0 mm以内)

2、1層目塗り付け後指先で塗り面に触れ、材料が付着しない程度を目安に、1層目同様塗り付ける。

(塗り厚の目安:1.0~1.5 mm以内)



3、材料は足さずに追っかけて各種仕上げ道具を使用し模様付けを行う。



⚠ 施工上の注意

■上塗り仕上げのタイミングは季節や天候に左右されるため、十分に塗り面の乾きの状態を見極めた上で施工してください。

■1層目を前日に行い、翌日に2層目を行うことを厳禁とする。

(ひび割れ等の原因となる)

仕上げ方法

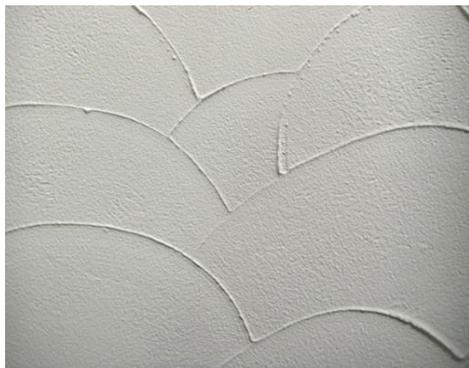
▼横引きずり仕上げ



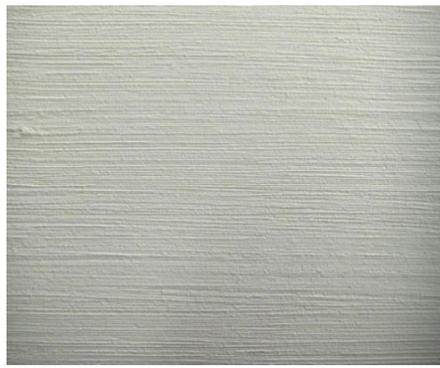
▼横引きずり仕上げ(波模様)



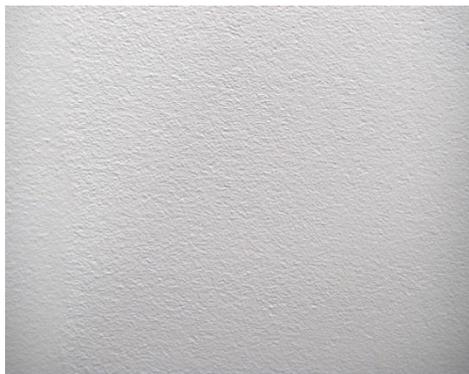
▼扇仕上げ



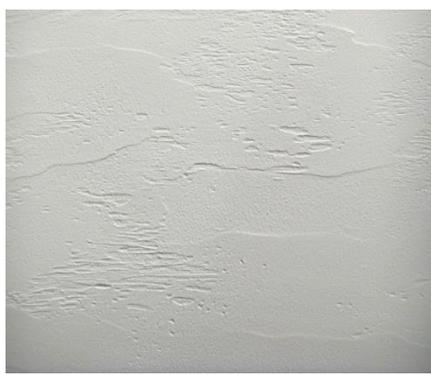
▼刷毛引きずり仕上げ



▼ローラー仕上げ



▼横引きずり押さえ仕上げ



補修方法

■壁面の入隅・出隅部分のクラックの補修の場合

【大きなクラック】

補修材のジョイントコーク材で対応可能。(お近くの販売店でご購入ください)

クラック亀裂部分に充填し、その表面を指先でなぞり、コーク材のはみ出し部分はウエスで拭き取ってください。

乾燥養生：夏季1日、冬季3日以上

【小さなクラック】

クラック補修表面の粉目を除去後、吸水処理材(水道水)を霧吹きで塗布後、同塗り壁材プレミックスをクラック部分へ刷り込み、霧吹きでその面へ吹き付ける。

クラックの状態により、1~2回同作業を繰り返してください。

1日乾燥養生後に、白のウエスで表面の粉目を拭き取ってください。

乾燥養生：夏季1日、冬季3日以上

■壁一面の補修の場合

P9.【下地処理】後、塗り壁材を練り、金ゴテ・刷毛等で傷部分の補修を行う。その後、壁面に薄塗りで仕上げる。

乾燥養生：夏季1~2日、冬季3日以上

施工上の注意

■吸水処理材(水道水)を塗布する際は、塗布量に注意し塗りムラが無いよう、面に対し均等に行うこと。

それを怠ると、液だれによる色ムラ・しみの原因になる。

定期的なメンテナンス方法

■壁面にハウスダスト(ほこり)が付着した場合

年1~2回程度、柔らかめの刷毛やはたき等を用いて除去する。



■鉛筆で書いてしまった場合

消しゴムで優しく消す。



■手あか・しみ・汚れ等の場合

ウエスに重曹(水溶液)を含ませ絞り、しみ部分を叩き拭きする。(重曹2:水8 ~ 重曹3:水7 の割合)



*汚れが落ちない場合

【下地処理】

付着した汚れ部分の表面をサンドペーパー#200~#240で、ケレンし粉目を除去後、吸水処理材(水道水)を霧吹き又は刷毛で、補修面に塗り付ける。(模様仕上げ→#200 フラット仕上げ→#240)



⚠ 施工上の注意

■吸水処理材(水道水)を塗布する際は、塗布量に注意し塗りムラが無いよう、面に対し均等に行うこと。

それを怠ると、液だれによる色ムラ・しみの原因になる。

■ 安全上の注意

- ・ 本製品は安全な成分で構成されていますが、皮膚への付着、目や口や鼻などへの吸引による異常を感じた場合は、速やかに専門医による適切な処置をしてください。
- ・ 本製品は飲食物ではありません。

■ 保管上の注意

- ・ 本製品は湿度の高い場所や屋外での保存はお避けください。
- ・ 開封後は硬化が始まりますので、お早めに使い切ってください。

■ 施工上の注意

- ・ 本製品は水を加えての練り返しは行わないでください。
- ・ 下地の取り付け不良、下地のあばれなどによって、ひび割れが発生します。
- ・ 下地の状態に不安がある場合は、必ず施工業者さんとお打ち合わせいただき手直した上で施工してください。

詳しくは施工要領書をご覧ください。

お問い合わせはこちらから

<https://www.okikon.com/>

OKIKON

製造元: 株式会社 沖坤 (おきこん)

〒905-2173 沖縄県名護市字久志521番地6
電話: 0980-55-2231 FAX: 0980-55-2468
メールアドレス main@okikon.com

2023年10月3日更新